

普通救命講習のご案内



2月に標茶高校で行われた、普通救命講習の様子

私たちが普段生活している中で、突然の病気やケガをした人に出会ったとき、救急隊が来るまで、その場に居合わせた人（バイスタンダー）による何らかの処置が必要となります。

このような場面に対応できるように、標茶消防署では普通救命講習を行っており、心肺蘇生法からAEDの取り扱い、止血の方法などを学ぶことができます。

本町では既に約5千人の方々が普通救命講習を受講しており、実際に町民の方が行った心肺蘇生法で命が救われた救急事例もあります。

町内会や職場、または個人でも受け付けていますので気軽に問い合わせください。

※標茶消防署のホームページにも、応急手当の方法を掲載していますのでご覧ください。

消防だより



標茶消防署 ☎485-2021

ホームページ

<http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/~sfsma/>

生石灰の保管方法に注意！



生石灰は水分と反応して熱を発生させる性質があります。

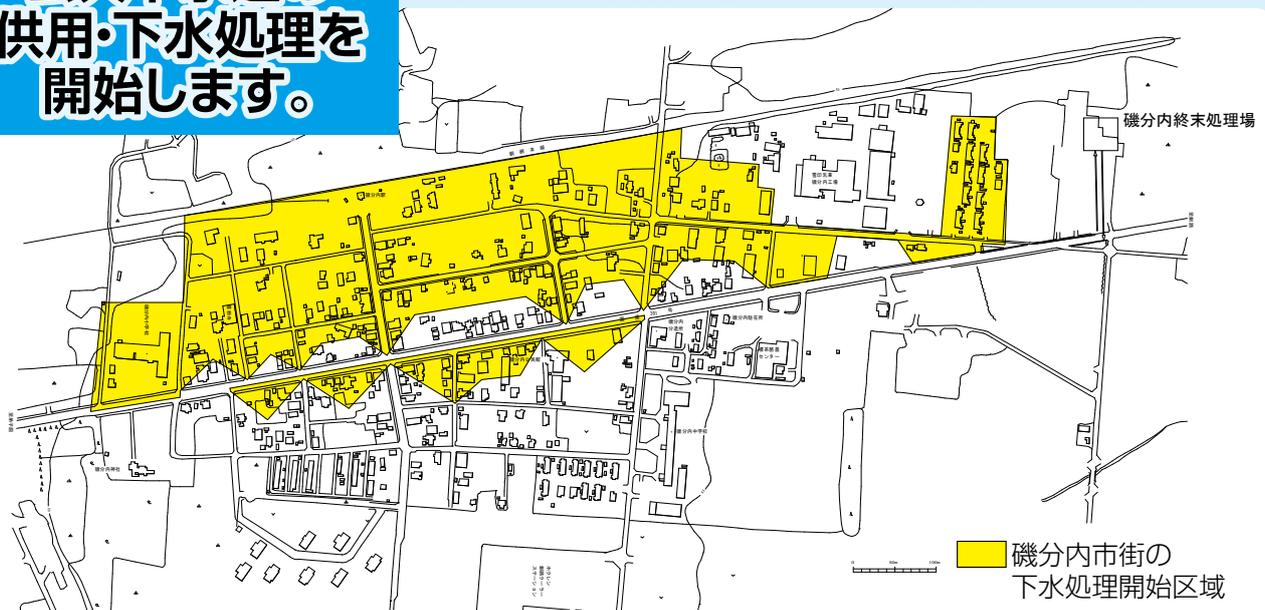
園芸などで使用し物置に保管している家庭も多いと思われませんが、保管の際は以下に注意してください。

※注意事項

- 袋の口が開いた生石灰は口から水分が入らないように保管しましょう。
- 台などの上に置いて保管するようにしましょう。
- ドアや窓など（雨や雪などが入りやすそうな所）の付近には置かないようにしましょう。
- 周囲に燃えるようなものは置かないようにしましょう。

公共下水道の 供用・下水処理を 開始します。

3月1日から磯分内市街の一部で新たに下水の処理を開始します。



■問い合わせ／役場水道課管理係 (17番窓口 ☎485-2111 内線262)



1/19 海の豊かさは、森と川から

別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会主催の環境講演会が、開発センターで開かれました。「森・川・海のつながりー森と海の栄養循環・川は命の回廊ー」をテーマに、道立林業試験場の長坂晶子さんが講演し、「河川周辺の森林は、陸と水の生物の接点であり、多様な生態系を育む重要な場所」とその大切さを語りました。



1/28 全国大会出場

松本健太さん（標茶中学校3年）が1月11～13日に帯広市で行われた第43回北海道スケート・アイスホッケー大会に出場し、男子500mで3位、男子1000mで5位という好成績を収め、2月2～5日に長野県で行われる全国大会の出場報告に訪れました。松本さんは、「この大会が中学校生活最後の大会なので、気合をいれて試合に臨みます」と意気込みを語り、町長から「体調管理をしっかりして全力で挑んで欲しい」と激励の言葉を受け取りました。



2/7 ワカサギ釣りを体験しました

塘路小中学校の生徒らが地域の特色を学ぶため、塘路湖でワカサギ釣り体験を行いました。標茶高校の生徒も参加し、竿に餌をつけてあげたりして地元の後輩たちとの交流を深めていました。雪と風が強いあいにくの天候でしたが、ワカサギを釣り上げる度に歓声が上がり、みんなで寒い中での釣りを楽しんでいました。



1/17 長い間ありがとうございました

昨年12月まで人権擁護委員として24年間活動された佐々木豊子さんに、法務大臣感謝状が伝達されました。佐々木さんは「ここまで長く続けられたのはやりがいがあったからです。皆さんから相談を受けることが自分自身の勉強にもなりました。」と長らく人権擁護に携わった感想を語りました。



1/28 自身の酪農を通じて将来展望への期待

JAしべちゃ青年部フロンティア21の森田昌樹さんが、1月16日に札幌で行われた北海道青年農業者会議のアグリメッセージ部門で最優秀賞を受賞の報告に役場を訪れました。「良質な自給飼料の確保を目指して・序」というテーマで、牛の餌となる草作りについて述べたという森田さんは、2月28日に東京都で行われる全国青年農業者会議で発表することも報告し「全国でも緊張せずに、自分が伝えたいことをきちんと伝えられるように頑張りたい」と意気込みを語りました。